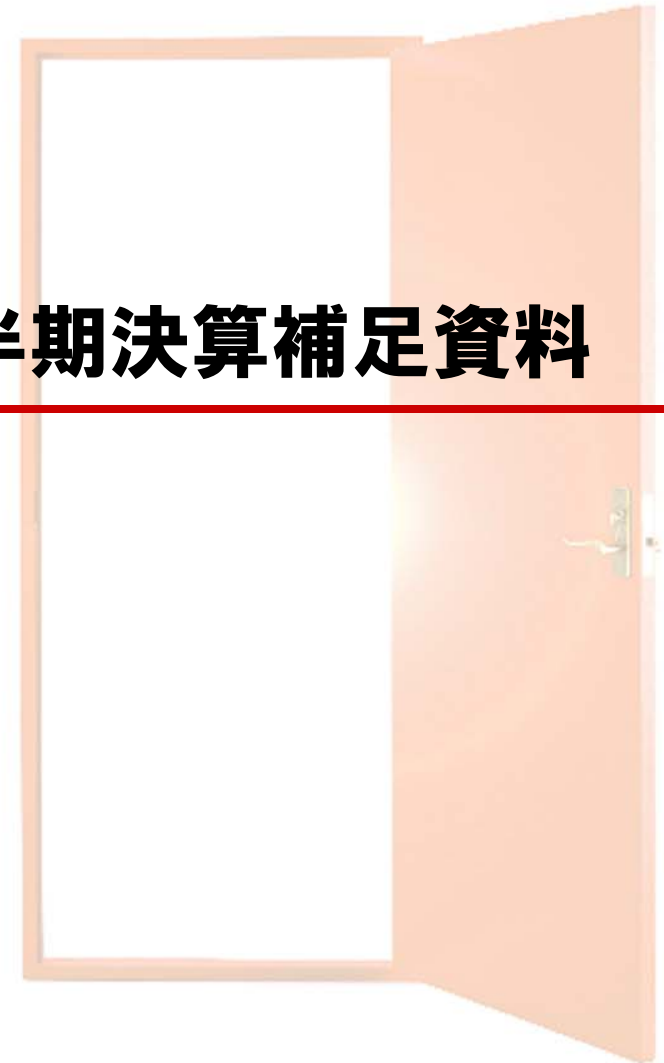


**平成28年8月期(52期) 第2四半期決算補足資料**

---

**平成28年3月31日**

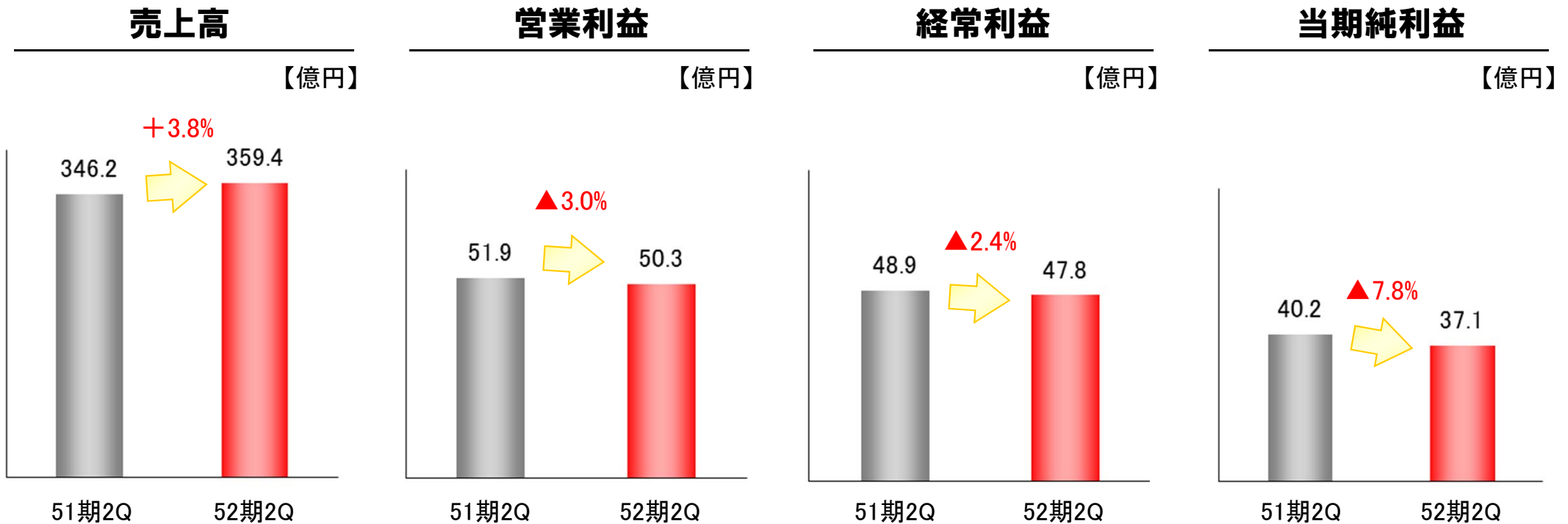


# 目次

- 1. 業績関連 ... P2
- 2. 財務／経営指標関連 ... P7
- 3. 事業関連 ... P12
- 4. 第2四半期TOPICS ... P17
- 5. 免責事項 ... P20

# || 業績関連 || 52期第2四半期連結業績(累計/前期対比)

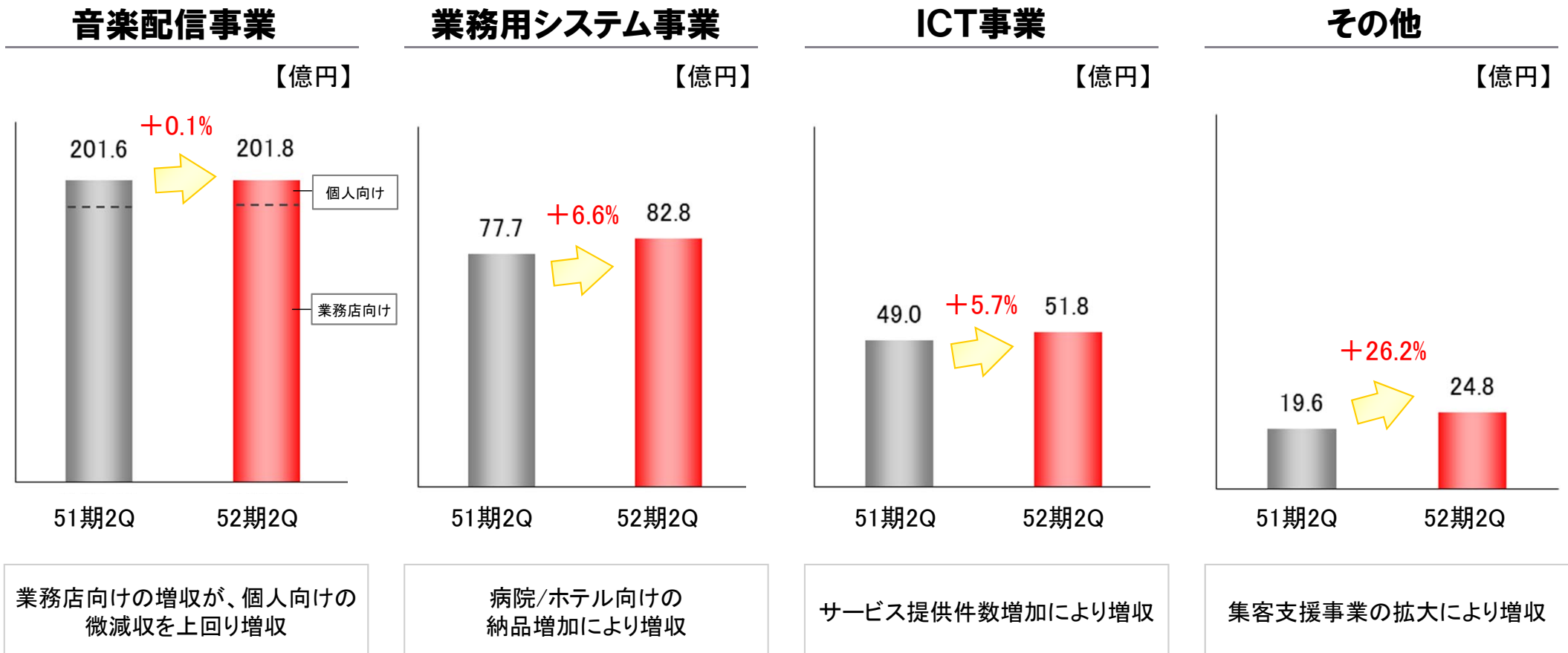
- 売上高は、第1四半期に引続きすべての事業が堅調に推移し前年同期比で増収。
- 営業利益および経常利益は各事業の堅調な推移も将来施策等の費用投下により減益。当期純利益は法人税等が増加したことにより減益。



※ 実績値は端数切捨て、パーセンテージは小数点第2位以下を四捨五入

# || 業績関連 || 52期第2四半期経営成績(累計/前期対比)

## セグメント別 売上高



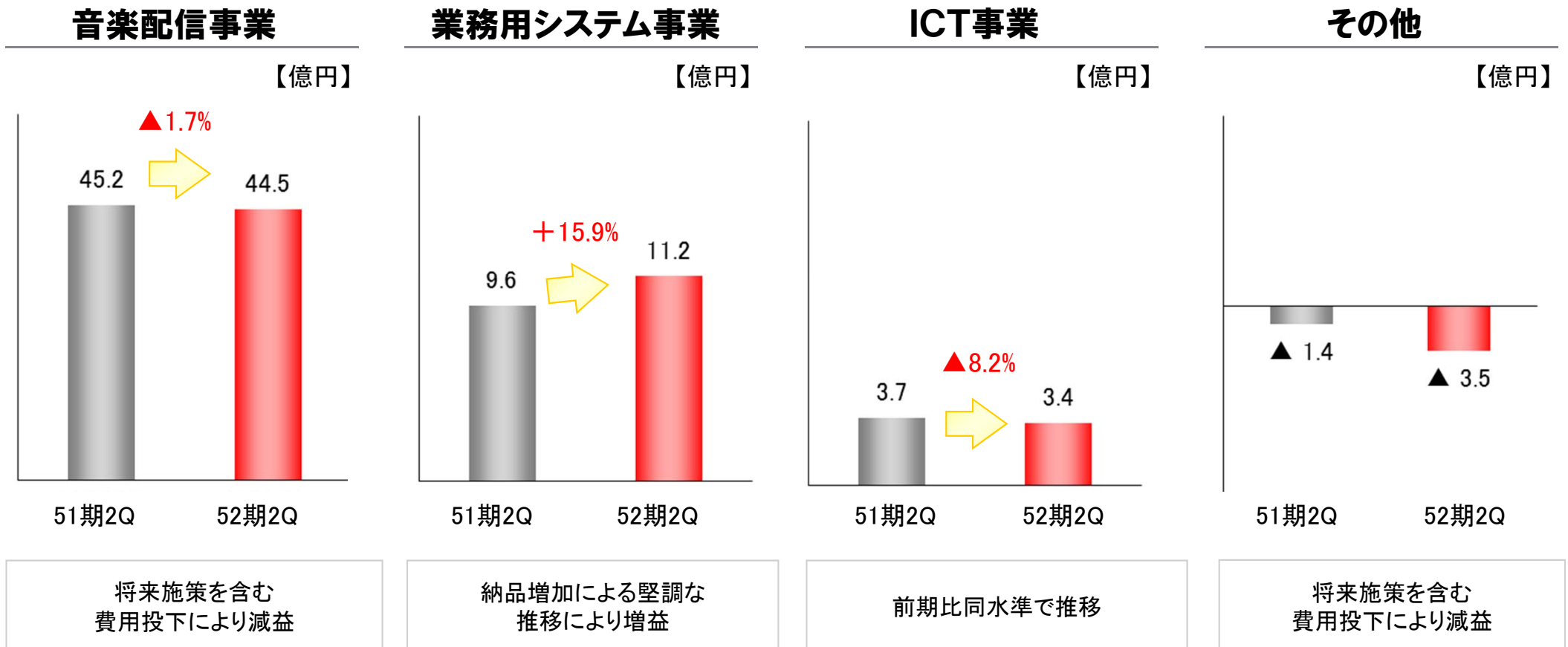
(参考) 業務店向け/個人向けの内訳は当社管理上の指標となります

※ 51期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲1.8億円の調整を行っております

※ 52期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲1.8億円の調整を行っております

# || 業績関連 || 52期第2四半期経営成績(累計/前期対比)

## セグメント別 営業利益

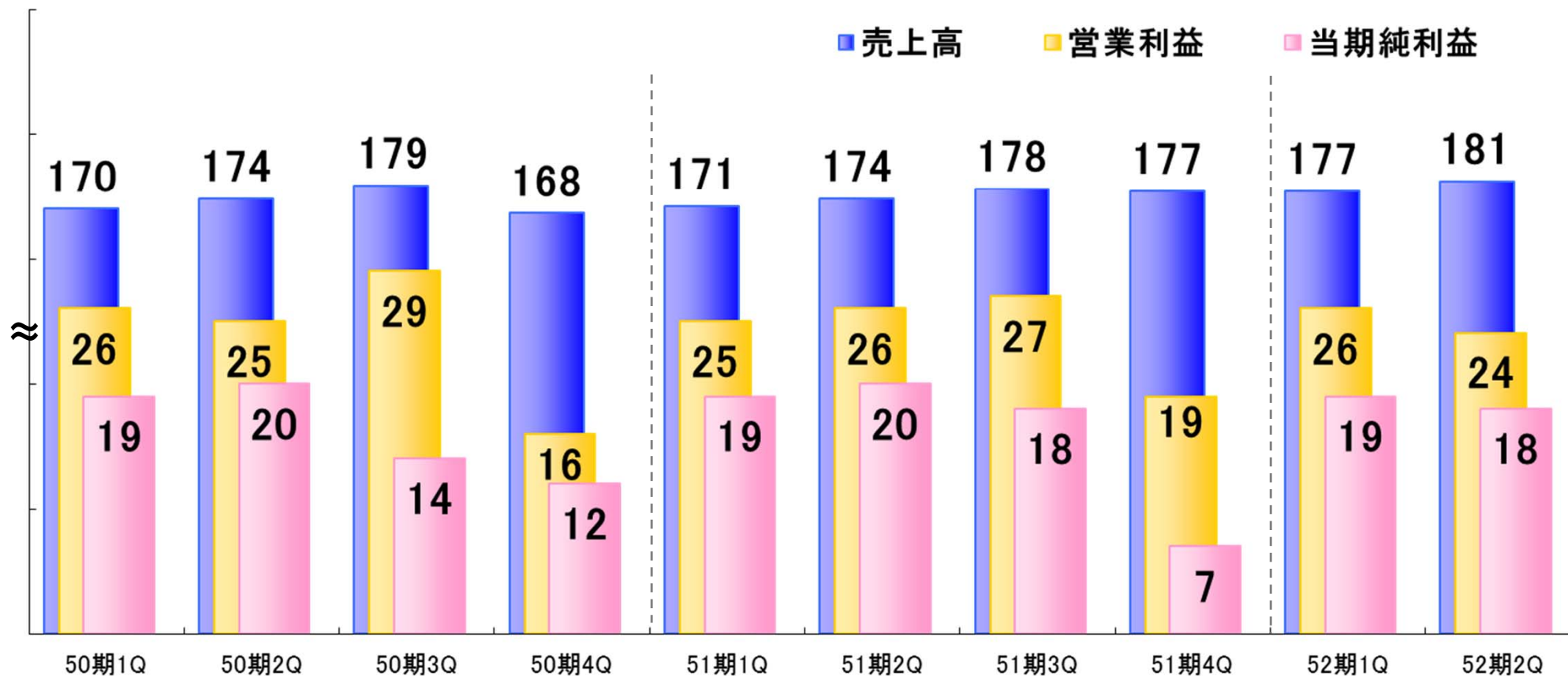


※ 51期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と▲5.2億円の調整を行っております

※ 52期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と▲5.2億円の調整を行っております

# 業績関連 連結経営成績推移

【億円】



当四半期売上高は直近2年半で最高値を達成、  
当四半期営業利益、当期純利益は前年同期比で減益で推移

※ 各数値は端数切捨て

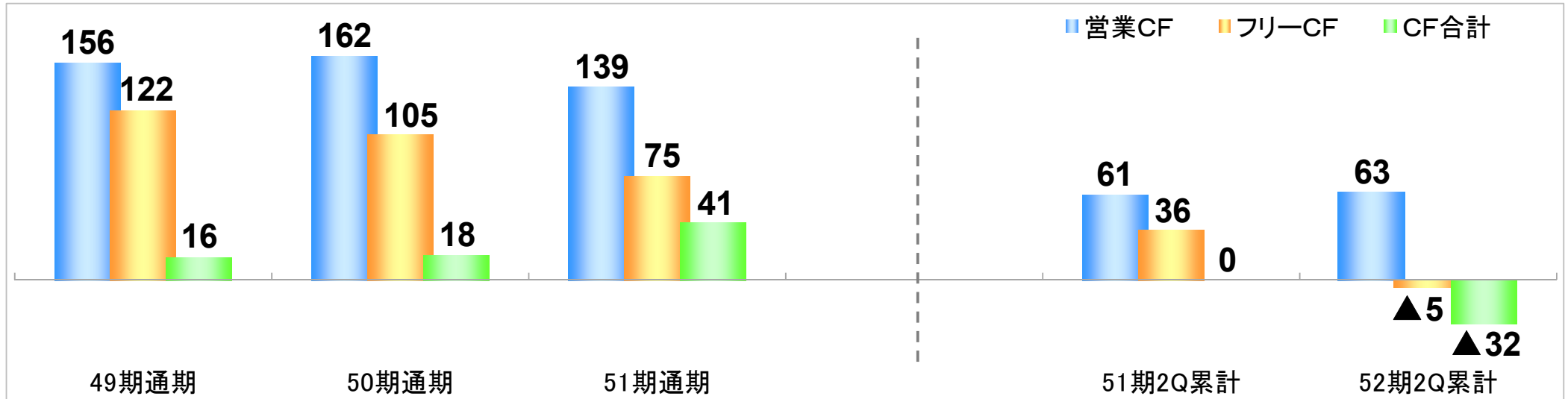
# || 業績関連 || 業績予想に対する進捗率

【億円】	通期予想 (A)	2Q累計実績 (B)	進捗率 (B÷A)
売上高	720.0	359.4	49.9%
営業利益	96.0	50.3	52.5%
経常利益	87.0	47.8	55.0%
当期純利益	66.0	37.1	56.3%

売上高は予想通りに進捗、  
各段階利益は予想を上回るペースで推移

# || 財務／経営指標関連 || キャッシュフロー推移

【億円】



※フリーCF=営業CF+投資CF、CF合計=フリーCF+財務CF

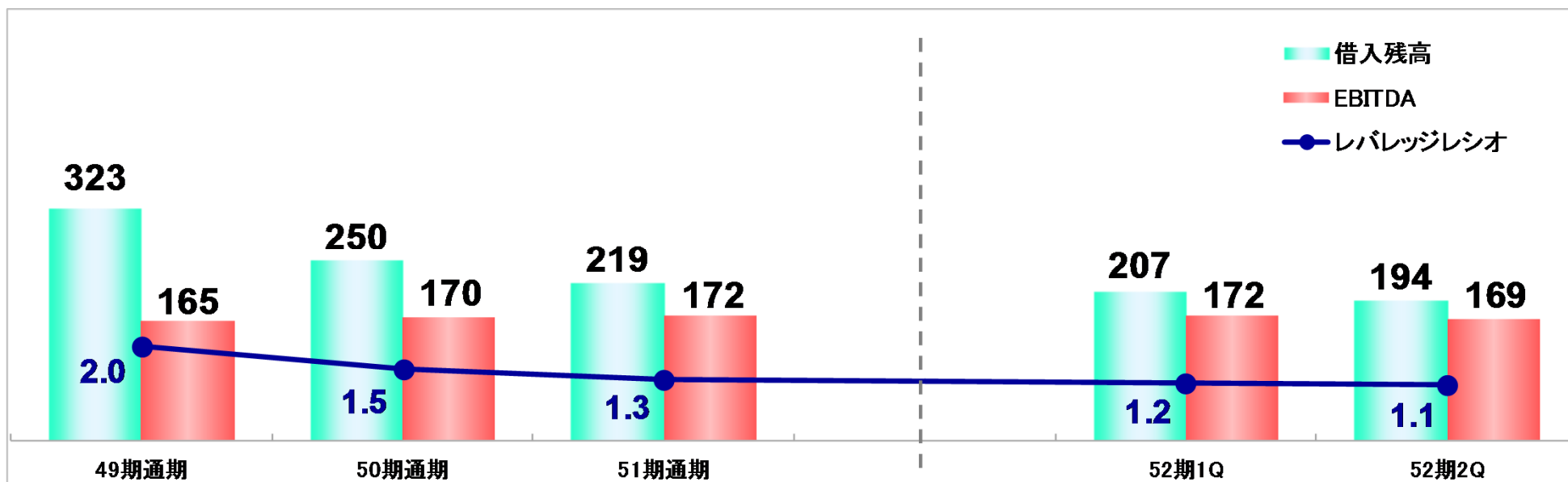
<営業CF>	156	162	139	61	63
<投資CF>	▲33	▲56	▲63	▲25	▲68
<財務CF>	▲105	▲86	▲33	▲36	▲27

営業CF微増も、第1四半期におけるキャンシステム社に対する貸付実行により投資CF支出が増加、  
CF合計は前年同期比32億円の減少



# || 財務／経営指標関連 || レバレッジレシオ

【億円、倍】



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

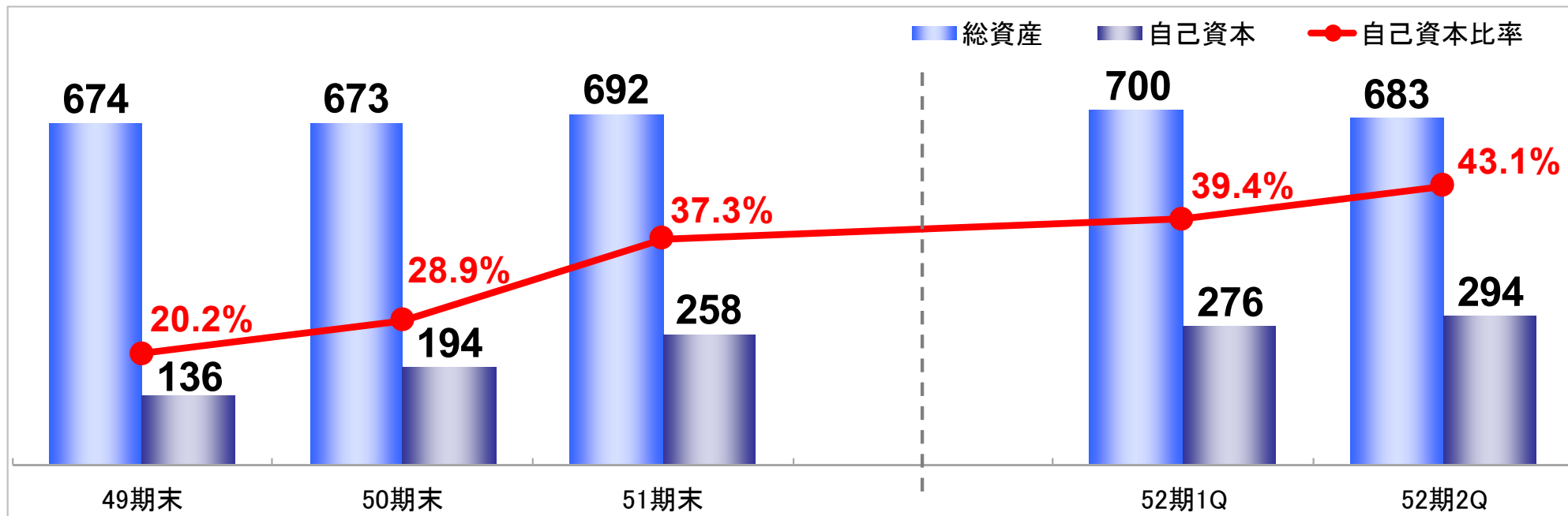
※EBITDAは直近12ヶ月ベースで算出

※レバレッジレシオ = 借入残高 ÷ 直近12ヶ月ベースEBITDA

EBITDAはほぼ安定的に推移、継続した借入金圧縮によりレバレッジレシオは微減

# 財務／経営指標関連 自己資本比率

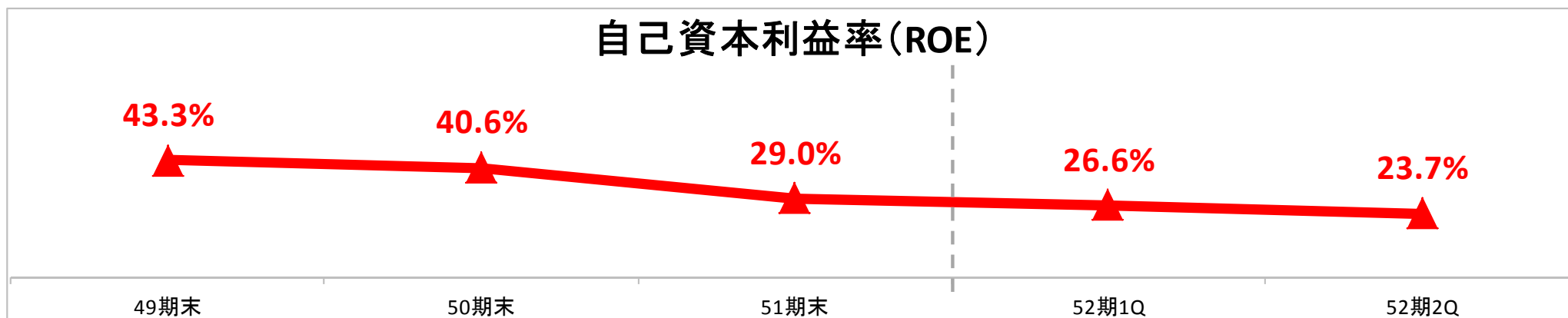
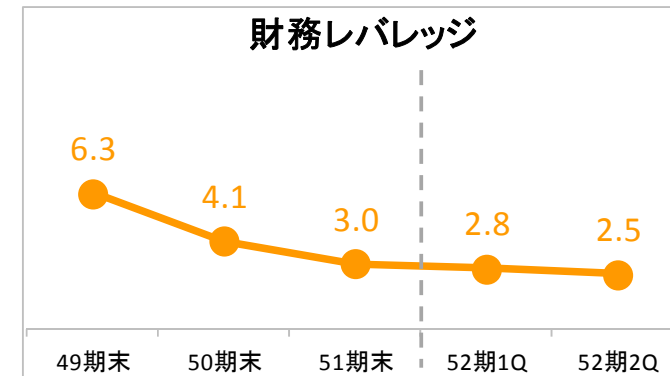
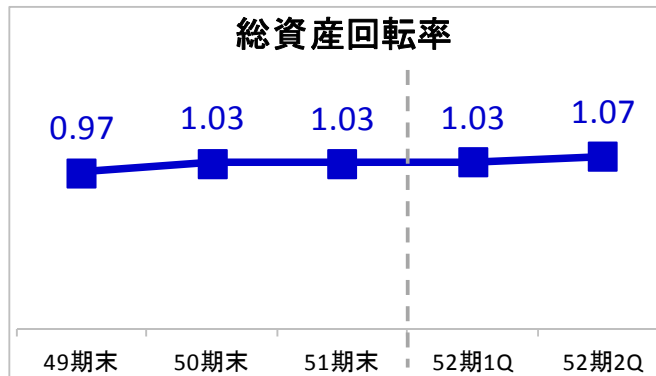
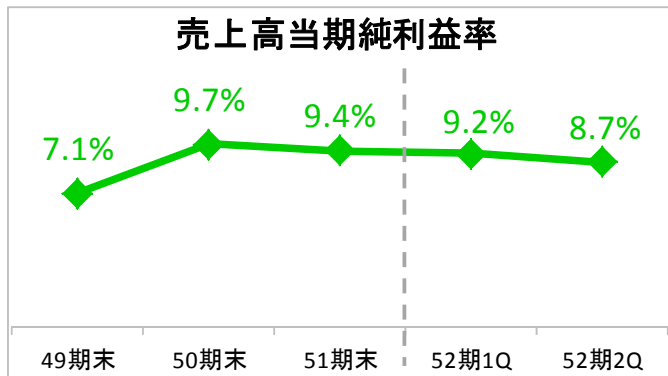
【億円、％】



※自己資本 = 純資産 - 新株予約権

総資産は前四半期比で約17億円減少、  
第2四半期も安定的な当期純利益の積み上げにより自己資本比率は43.1%に

# || 財務／経営指標関連 || 自己資本利益率(ROE)



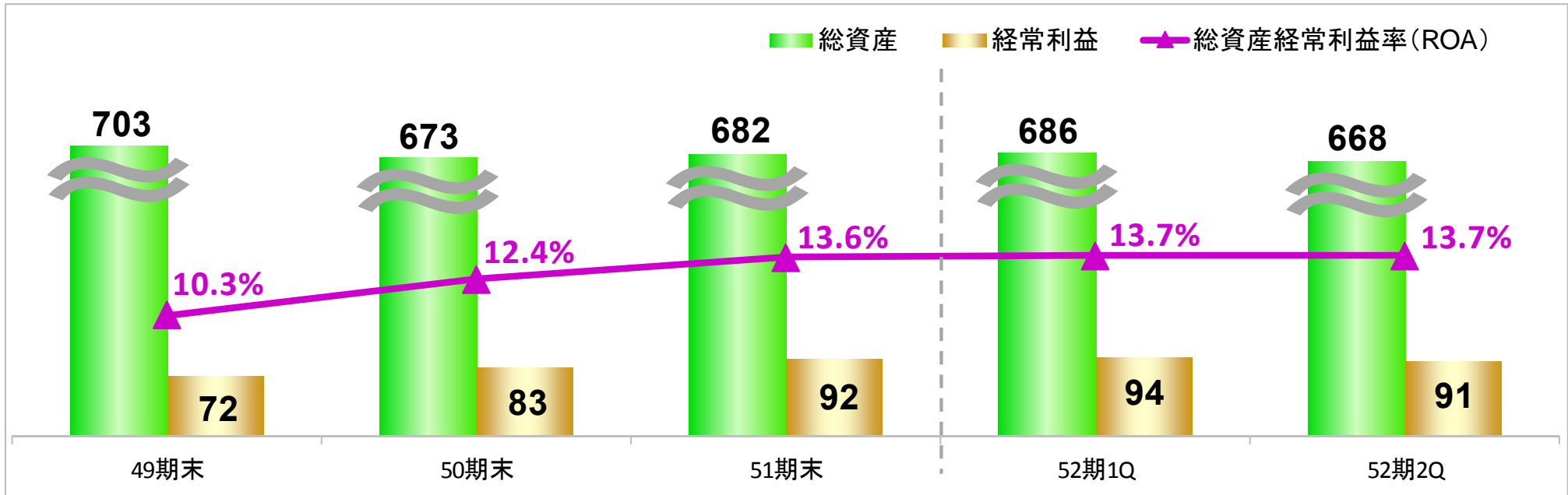
※自己資本利益率(ROE) = 売上高当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

※52期2Qの売上高及び当期純利益は直近12ヶ月ベース、総資産及び自己資本は51期2Qと52期2Qの平均値

売上高当期純利益率は前四半期比で微減も、総資産回転率は増加、  
借入金圧縮に伴う財務レバレッジ微減によりROE減少も高水準を維持

# || 財務／経営指標関連 || 総資産経常利益率(ROA)

【億円、%】



※総資産経常利益率(ROA) = 経常利益 / 総資産 × 100

※52期2Qの経常利益は直近12ヶ月ベース

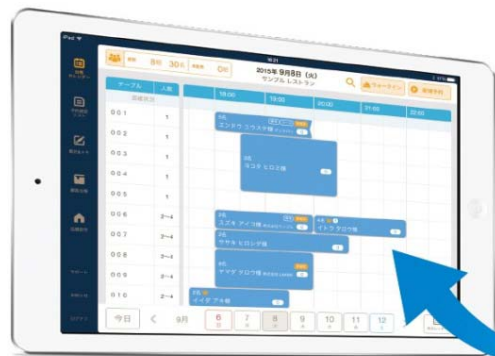
※52期2Qの期中平均総資産は51期2Qと52期2Qの平均値

**経常利益が前四半期比微減するも、  
期中平均総資産も減少したため、ROAは13.7%を維持**

# || 事業関連(音楽配信事業) || 付帯新サービス



## USEN Reservation



予約の登録・変更・キャンセル

Web予約の簡単受付

顧客の登録・編集・履歴確認

空席情報の連動



### 飲食店向け予約サービス 『USEN Reservation』リリース

当社が運営するグルメサイト『ヒトサラ』及び多機能レジアプリ『USEN Register』と予約サービスを連携。集客～予約～接客時のおもてなし～オーダー管理～会計までを一気通貫で管理可能に。

## USEN CART

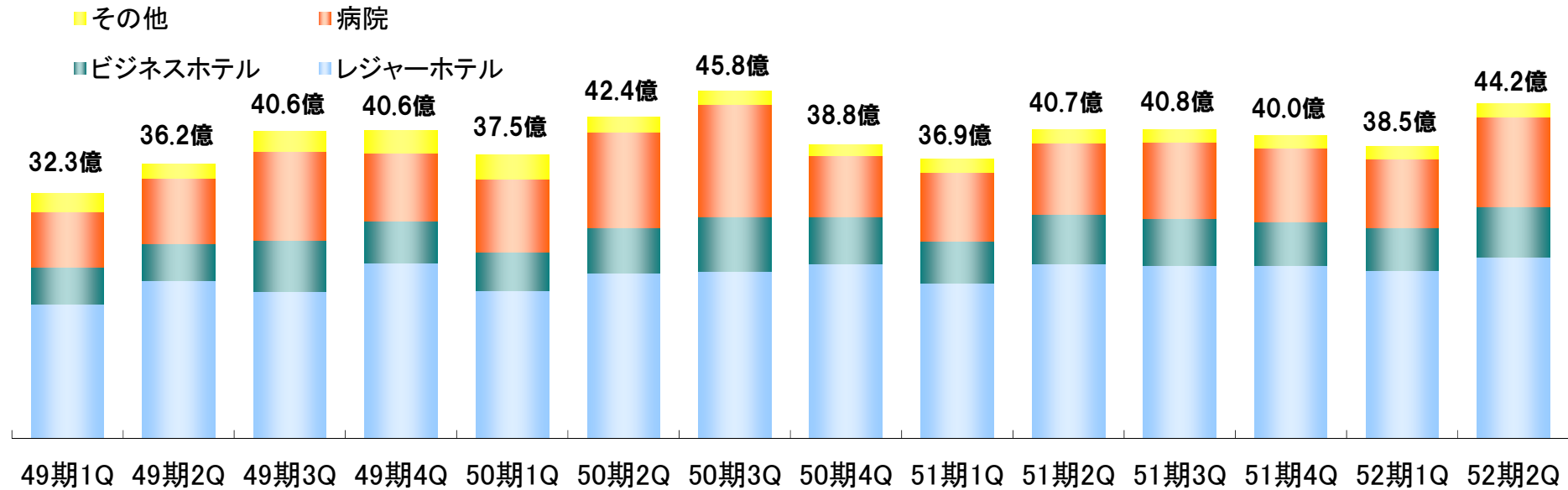


### 店舗用品の通販サービス 『USEN CART』リリース

当社サービスの加入店舗に向けて、日々の店舗運営に必要な備品や消耗品を“安く・簡単・便利に”タブレット端末やスマホから発注できるサービス。約3,600点の商品をラインナップ。

# || 事業関連(業務用システム事業) || 売上ポートフォリオ

## ■ 四半期推移

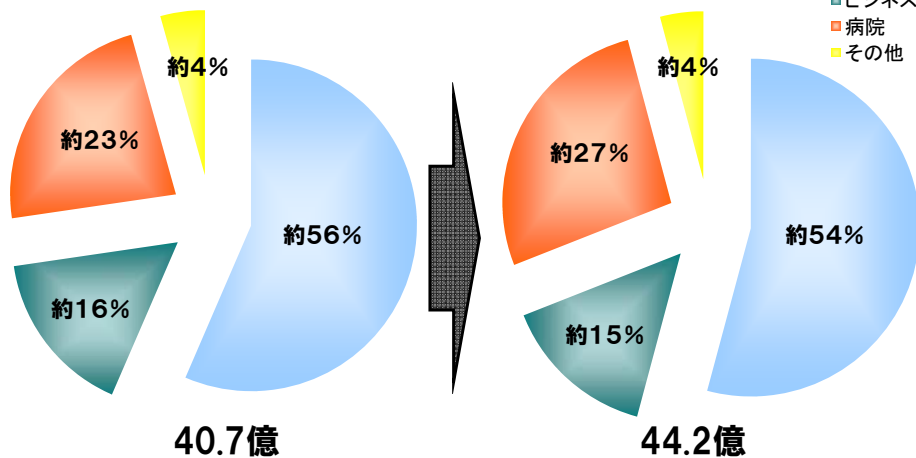


## ■ 前年同期比

[51期2Q]

[52期2Q]

■ レジャーホテル  
■ ビジネスホテル  
■ 病院  
■ その他

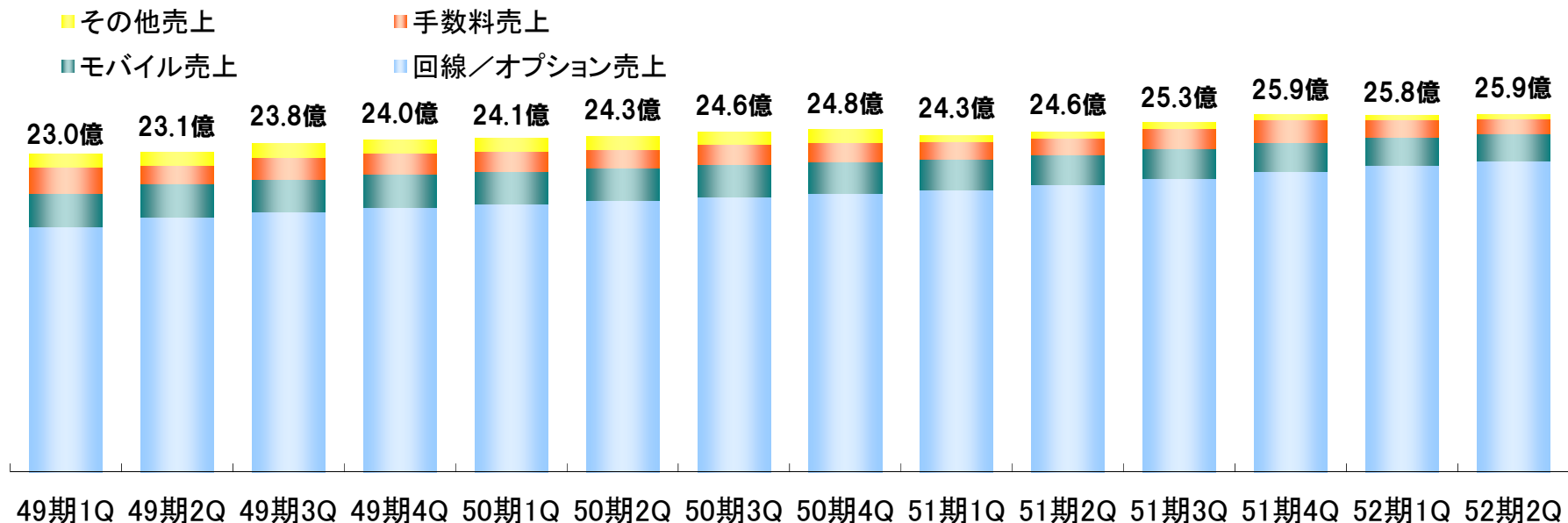


## ○ 売上は前四半期から大幅に伸長

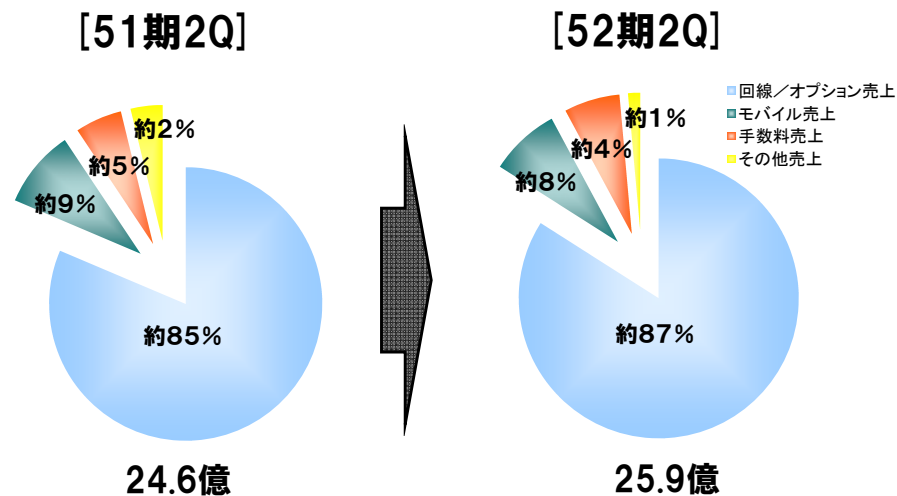
- 病院/レジャーホテルでの拡大により、前年同期比では約3.5億円の増収
- 400床未満の病院での診療明細書義務化による精算機需要等が寄与

# || 事業関連(ICT事業) || 売上ポートフォリオ

## ■ 四半期推移



## ■ 前年同期比

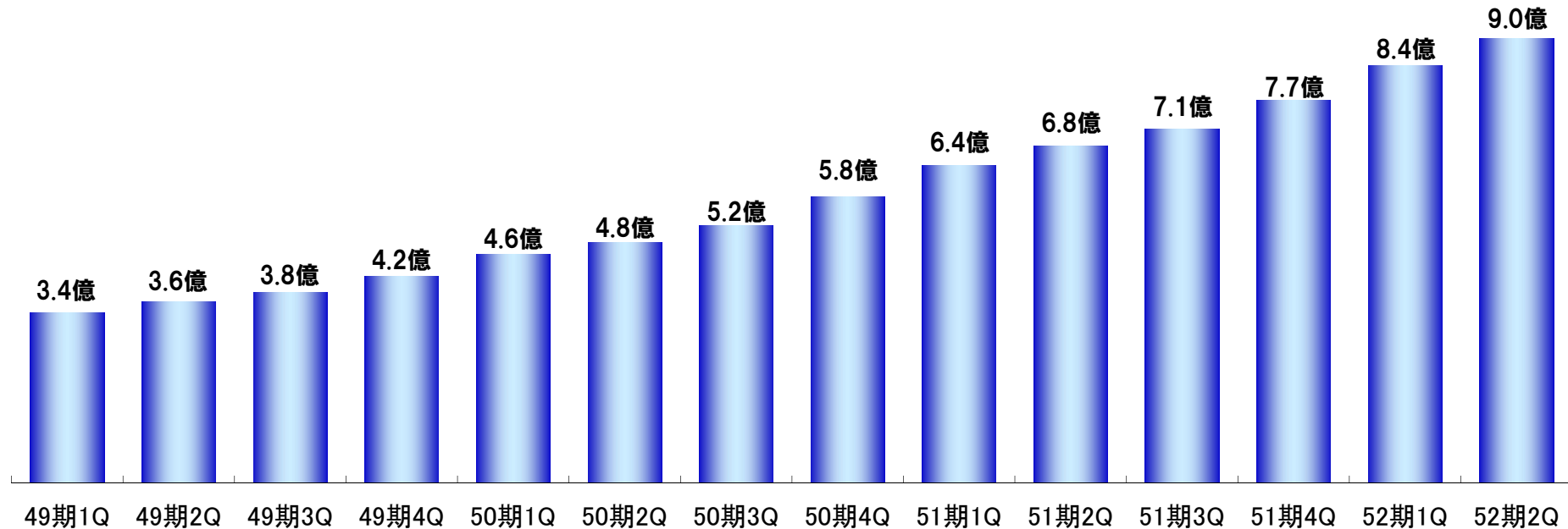


## ○ 売上は前四半期比ほぼ横ばい

- 前年同期比では約1.3億円の増収
- 主力の回線/オプションサービスは増収基調を維持して事業全体の売上拡大を牽引
- 但し、競争が厳しい事業環境のため、市場や顧客ニーズに応じたサービスラインアップ拡充を継続的に行い競争力を強化

# || 事業関連(その他事業) || 集客支援事業 売上推移

## ■ 四半期推移



## ○ 売上は四半期ベースで過去最高を更新

- 自社運営グルメサイトであるヒトサラや付随サービスの販売が引き続き堅調に推移
- インバウンド対応、ウェディング等の周辺領域への拡大により、事業の成長を進めていく



# || 事業関連(その他事業) || 電力小売り事業

## ▶▶ 電力セットサービス『電気で店舗支援セット』シリーズの受付開始

東京電力株式会社の提供する新しい電気料金プラン「ビジネスパック2年割」と、当社の業務店向けサービスを、お得なパッケージとして提供する「電気で店舗支援セット」を東京電力管轄地域内にて2016年1月から受付開始。

「ビジネスパック2年割」に当社を通じて申込み、且つ「USEN音楽放送サービス」、タブレット型POSレジシステム「USEN Register」、光インターネット回線「USEN光」をセットで新規申込みの場合、当社サービスの月額利用料を最大30%割引で提供。

店舗運営をトータルサポート



ビジネスパック2年割

USEN HIKARI

USEN音楽放送

USEN Register

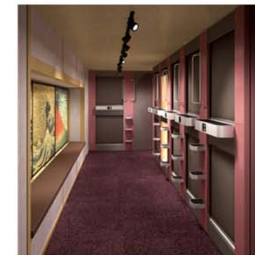
# || 第2四半期TOPICS || インバウンド事業関連

## ▶▶ インバウンド事業の展開を加速

### 訪日外国人女性向け宿泊施設



- ✓ 2016年4月開業
- ✓ 渋谷駅徒歩約10分の好立地のカプセルホテル
- ✓ 当社の集客支援/業務支援/環境構築商材のアンテナショップとしても活用



### 訪日外国人向けグルメサイト



- ✓ ヒトサラのコンテンツを訪日外国人目線で厳選して再編集・翻訳
- ✓ 英語版に加えアジア圏言語(中/韓/台)を追加し多言語展開

### 訪日外国人向けポータルサイト



- ✓ “観る”“食べる”“寝る”の訪日外国人の三大ニーズに応えるサイト
- ✓ 日本の食事におけるマナーや食文化を紹介する動画コンテンツを拡充

# || 第2四半期TOPICS || 音楽配信事業関連

## ▶▶ 定額制音楽配信サービス『スマホでUSEN』で新たなチャンネルを続々リリース



冷え性に悩む女性に向けて、「冷え性に悩む女性のための音楽 ~J-POP編~/~クラシック編~」をリリース

チャンネル開発にあたり、検証実験を実施したところ、どの世代でも明るく心地良いクラシック作品を聴いた時に、最も血流が良くなり、副交感神経の割合が高まる傾向がみられた。



オリジナルのトーク/バラエティ番組を多数追加しラインナップを強化

# || 第2四半期TOPICS || IR関連

## ▶▶ 現行シンジケートローンの総額借換え、並びに優先株式の取得及び消却

－2月18日開催の取締役会において、以下の財務・資本施策実行について社内決議

- ① 現行シンジケートローンの総額借換えのため、新たに株式会社みずほ銀行をアレンジャーとして計10金融機関との間で新シンジケートローン契約を締結  
現行シンジケートローンより、無担保／利率が減少／最終返済期限が延長／投資制限の撤廃等当社にとって有利であると評価できる条件での実施により安定した長期資金を確保

### 【概要】

組成総額 300億円（内、タームローン240億円、コミットメントライン60億円）  
期間 6年（最終返済期限 平成34年3月）

- ② 新シンジケートローンによる調達資金の一部を利用し、第2種優先株式の全株式を取得・消却

### （後発事象）

- －3月11日 新シンジケートローン契約締結
- －3月31日 現行シンジケートローンの総額借換え、並びに第2種優先株式の取得・消却の完了

## || 免責事項 ||

**本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性／完全性を保証するものではありません。**

**本資料に記載されている、USENの計画／戦略等のうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。**

**本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。**